

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム ももたろう
日付	平成19年3月31日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>職員は入居者に接するときによりゆくりと話をし、いらついた感じはありませんでした。食事の時も入居者にはできるだけ自分で食べてもらうように、また食べやすいように介助していました。</p> <p>3ヶ月ごとに家族会を催し、普段聞けない意見が聞けるような仕組みづくりをしています。家族も入居者もそして職員も情報交換することで納得できるグループホームとなっています。</p> <p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <p>職員がいるわりに、介助の深さが足りないようです。入居者が何もせずじっとしている場面があったのでそう感じました。職員の配置を考慮すれば、更にゆとりが生まれ、より良い介護に繋がると思います。外出する機会も少なく、外出は入居者の家族に依頼しています。出来れば、外出を何とか職員とのふれあいの一環として考えてはいかがでしょうか。</p> <p>代表者の考えが急いで優先されているので、納得できるまで職員に説明し、コツコツと稼働すれば、代表者の思う理想のグループホームにより早く近づくとおもいます。</p>
--

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答)		
	家庭的な雰囲気の中で楽しく、いやな思いをさせないようにと考えています。落ち着いた生活が送れるようにと支援しています。生活支援、特に身体的な支援中心に入居者の事をしっかり考えています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答)		
	車イスで生活していると立ち上がりそうとするので、危険防止のためにベルトをつけましたが、ソファーに座ってもらうとそのようなそぶりは見せなくなり落ち着きました。初めて入居された方も他の入居者達と一緒に同じ空間で生活してもらおうと慣れてくるようです。入居者に合わせた介護をしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答)		
	居室に入る時には必ず言葉かけをしてから入室しています。また失禁した時は居室か、お風呂で処理しています。必ず他の入居者に配慮して、大きな声を出さないようにしています。		
	食事はできる限り、自力でお願いしています。こぼすことも多いですが、職員はお手伝いに徹しています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	(記述式で回答)		
	外部の研修には積極的に参加しています。月1回行う会議の中で、研修で学んできたことなどを報告しています。		
	管理者は職員に対して介護の仕方などで、何か気付いたときには指導をしています。また代表者は介護職の方とは違った目線で職員や管理者に対して、気づいた点を会議の時などに話しています。		